

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	オーエンス泉岳自然ふれあい館																
2	指定管理者	株式会社オーエンス																
3	指定期間	平成26年7月21日～平成30年3月31日																
4	施設の利用状況	<p>《利用者数（延べ）》82,719人（前年度比103%）  (29年度)  本館：41,715人 市民キャンプ場：9,185人 休憩コーナー：31,819人  (28年度)  本館：39,218人 市民キャンプ場：7,636人 休憩コーナー：33,372人  (27年度)  本館：41,147人 市民キャンプ場：6,631人 休憩コーナー：30,176人</p> <p>《事業》  ○受入れ事業 本館：345組 延べ37,111人  (小学校、中学校、子ども会、家族、幼稚園、保育園、他)  ○主催事業 51事業：延べ2,074人 ※ボランティア事業含む  ○野外活動ボランティア事業  養成講座修了者：12名  登録者：85名  ボランティア支援：73回 延べ249名  ※上記の事業の他に、泉ヶ岳の情報の収集と利用者への提供、軽食堂及び売店の運営、下見対応等を行っている。</p>																
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <table border="0"> <tr> <td>・ 指定管理者に支払った費用</td> <td>114,910千円</td> <td>(103,993千円)</td> <td>( )は前年度決算額</td> </tr> <tr> <td>・ その他市が負担した費用</td> <td>3,949千円</td> <td>(5,589千円)</td> <td></td> </tr> </table> <p>《収入》</p> <table border="0"> <tr> <td>・ 使用料収入</td> <td>13,892千円</td> <td>(12,229千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ その他収入</td> <td>31,604千円</td> <td>(31,088千円)</td> <td></td> </tr> </table>	・ 指定管理者に支払った費用	114,910千円	(103,993千円)	( )は前年度決算額	・ その他市が負担した費用	3,949千円	(5,589千円)		・ 使用料収入	13,892千円	(12,229千円)		・ その他収入	31,604千円	(31,088千円)	
・ 指定管理者に支払った費用	114,910千円	(103,993千円)	( )は前年度決算額															
・ その他市が負担した費用	3,949千円	(5,589千円)																
・ 使用料収入	13,892千円	(12,229千円)																
・ その他収入	31,604千円	(31,088千円)																
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケート（H29.4～H30.3に実施）</li> <li>・事業参加者アンケート（H29.4～H30.3に実施）</li> </ul>																

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	教育委員会が定める運営の基本方針に加え、指定管理者独自の基本方針が策定されている。また、集団宿泊活動や自然体験活動等の支援が適切に行われており、施設の設置目的が達成されている。	S
II 施設の運営管理体制	開館時間、職員体制、指定管理料の執行状況は仕様書のとおり適正である。個人情報保護及び情報セキュリティ対策については、必要な対策が講じられている。また、事故防止及び災害発生時の対応状況については、マニュアル等が整備されており、定期的に訓練を実施するなど職員への周知も行われていることが確認できた。	S
III 施設・設備の維持管理	建物・設備に目立った損傷等は見られず、発見された不具合についても適正な対応が図られており、利用者が安全に利用できる状態が保たれている。また、環境負荷軽減については、仕様書に基づき取組みが行われていた。	S
IV サービスの質の向上	職員のマナーについては、マニュアルの整備、研修の実施等により適正である。施設の利用情報の提供については、ホームページやフェイスブック、リーフレット等により周知が図られている。また、利用者アンケートを実施し利用者の意見を取り入れた改善を検討するなど、サービス向上の取組みも行われている。	S
V 施設固有の基準	売店や軽食堂の運営について、地元産品を積極的に取り入れ、泉ヶ岳周辺地域の振興に資する取組みがなされている。野外活動支援については、仕様書のとおり適正に行われており、怪我や急病にも適切な対応が図られている。運営上求められる保険加入については、仕様書のとおり適正である。	S

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

### 四 評価総括

《指定管理者（株式会社オーエンス）による自己評価》
<p>平成29年度は、指定管理者としてのこれまでの経験を活かし、地域やボランティアとの連携を深めながら、青少年の健全育成を支援する野外活動プログラムの提供を目指し管理運営を行った。</p> <p>受入れ事業では、利用者数が過去最多となった。利用者が安心して野外活動を行えるよう支援を行うとともに、食事における確実なアレルギー対応で、利用者からは好評をいただいた。</p> <p>主催事業では、地元企業と連携して行った「ノルディックウォークを楽しもう」や、幼児を対象とした「泉ヶ岳幼児わくわくデイキャンプ」など、新たな事業の開催で利用者層の拡大に努めた。このうち、幼児向け事業は平日開催であったものの、親子連れでの参加があり、今後の事業実施の参考となった。</p> <p>ボランティア事業については、「ボランティア養成講座」を開催し、12名が修了して本施設の登録ボランティアとなった。野外活動においては、延べ73回249名のボランティアに支援いただき、季節に応じて登山やスキーなど各ボランティアの得意分野を活かした活動の展開を図った。主催事業においては、野外活動ボランティアのほか、学生ボランティア、社会教育主事ボランティアに支援いただくことで活動の場を提供した。</p> <p>今年度は、昨年度に続き市内大学の社会教育主事課程における5日間の学生実習受入れを行った。教育機関及び学生の間で、本施設が若い力の人材育成を担う施設の一つとして定着しつつあることを実感しており、今後も実習の充実を図っていく。</p> <p>職員研修では、市主催の研修や説明会に積極的に参加することで公共施設の職員としての水準維持を図るとともに、職員のスキル向上を目的とした実務研修を実施した。厨房においては定期的に異物混入防止強化月間を設け、厨房職員の意識向上に努めた。また、定期的に「安全衛生会議」を開催し、ヒヤリハットや施設内の危険箇所等の情報共有を行った。</p> <p>施設維持管理については、不具合発見時の即時報告の徹底と、軽微な破損等の職員による早急な修繕を実施した。</p> <p>本施設の年間利用者数は、毎年増加しており、特に市民キャンプ場の増加率は前年比120%で推移している。市民キャンプ場へのリヤカー増設などで利便性向上に努め、リピーターを含めた利用者増を図った。</p> <p>平成29年度は、新たな広報の手段としてfacebookの運用を開始した。記事では、市民が来訪する際の参考となるよう、ふれあい館周辺の気温や冬期の積雪量などを知らせるほか、主催事業や四季折々の泉ヶ岳の表情を写真つきでお知らせすることができ、効果的な広報を行うことができるようになった。</p> <p>アンケートから、本施設を利用する家族連れの多くは、施設ホームページから利用に関する情報を得ていることがわかった。今後はfacebookやホームページでの分かりやすい情報提供に努めるとともに、学校利用の無い期間の本館利用者増を図っていく。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>当施設の運営について、指定管理者は協定書及び仕様書に基づき適正に執行している。</p> <p>施設利用者数については、平成29年度の総利用者は82,719人で開館前の計画を大きく上回っており、前年度比も103%で約2,500人の利用者増となっている。特に市民キャンプ場は前年度比120%となっており、学校だけでなく一般の利用者にも当施設が広く認知されてきていると考えられ、指定管理者の施設運営と積極的な広報の成果と評価できる。</p> <p>主催事業では、従来の事業に加え施設周辺の自然環境を活かした新規事業を開催するなど、より多くの利用者にも自然体験活動の機会を提供している。また、野外活動ボランティアについては、スキルアップ講座の開催に加え学校利用や主催事業の活動支援等、学んだ成果を活用できる機会を年間を通じて提供しており、生涯学習施設としても十分な機能を果たしていると評価できる。</p> <p>利用者アンケートでは、いずれの項目においても良好な回答が得られており、利用者満足度は高い水準を保っている。</p> <p>開館から3年半が経過し、安定した施設運営ができています。今後は、指定管理者としてこれまでに蓄えたノウハウを活かしたより効率的な施設運営や効果的な広報、魅力的な事業の企画等が期待される。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局生涯学習部生涯学習課